

(仮称)小牧市こども未来館ワークショップ

～施設の活用について考える～

平成30年7月28日(土)に、今年度第2回目のワークショップを開催しました。

前回同様、学識経験者や、学校地域コーディネーター等の地域関係者、中高生、大学生など40名に参加いただき、前回議論した「施設の心地良さ」についての意見を出来る限り反映した施設配置案をもとに、それぞれの立場から(仮称)こども未来館が魅力ある施設として多くの方に利用していただくために、どのような活用ができるかについて話し合いました。

●開催概要

《第2回(仮称)こども未来館ワークショップ》

日時：平成30年7月28日(土)午前10時～正午

場所：まなび創造館多目的室(ラピオ4階)

参加者：学識経験者、小中学校地域コーディネーター、
小牧中学校生徒、高校生、大学生等40名



●グループワークの様子



●グループワークで出された意見(抜粋)

《2階》

○広い防音室(ダンスパフォーマンス室)は他にはないので、ダンス以外にも吹奏楽や演劇等の部活動や、マタニティヨガ等の市民講座など、様々な活用ができる。

⇒楽器を安全に運べる動線を確保してほしい。

⇒2コマ連続での使用や定期的な使用など、利用者の使い勝手がいい予約システムの構築が必要。

○交流広場はにぎやかだが、グループで勉強したい中高生はいる。

⇒机・イスを多く配置してほしい。

《3階》《4階》

○「工作室」や「ラボ」などは、平日昼間は大人や大学生のサークル活動に一部活用したらどうか。

⇒企業連携や市民講座の実施など、常に稼働している運用が望ましい。

○安全のため、遊具やゾーンは対象年齢ごとに色分けされているとわかりやすい。

⇒多世代で遊び合い、学び合うことが大切。ゾーンや時間で利用年齢を分ける必要はないのでは。

《全体》

○施設内が上足(靴を脱いで利用)なのは、心地良いと思うが、安全性には十分注意すること。

○入場券と靴箱のバーコード等を連動させるなどの靴の紛失防止対策を検討してほしい。

⇒こどもは入場券を失くしたり、濡らしたりしてしまうので、防水の腕輪タイプや、体に貼るシールタイプはどうか。

【発表の様子】



ご参加いただいた皆様の期待に応える魅力ある施設となるよう、貴重な意見を反映し、設計を進めていきます。設計業務の進捗状況については、広報こまきやホームページ等でお知らせしていきます。